

## 2. 「持続可能な都市」の基本理念

豊かな自然や文化に育まれた東北地方の中小都市が、社会的、環境的そして経済的に持続可能な“コンパクトシティ”を実現するため、次の基本理念を掲げる。

### 安全で安心、快適な都市

人口減少、少子高齢化社会が進行するなかにおいても、子供からお年寄りまでの各世代が交流できる機会があり、街なかや郊外住宅地、農村集落等それぞれの地域にあった多様な暮らしがおくれ、雪対策や防災の取り組みなどを進め、安全で安心、歩いて暮らせる快適な都市を形成していく。



・昔の遊びを通じた世代間交流により、子供からお年寄りまで生き生きとした暮らしが営まれる。  
(写真：生涯学習の取り組み（宮城県栗原市）)



・行政の協力を得て、地域が主体となって自分たちの地域の歩道除雪を行い、冬場の歩行空間を確保している。  
(写真：住民による歩道除雪の状況（岩手県宮古市）)

### 魅力的で活力ある都市

都市機能の再構築等により、魅力的な街なか空間を形成するとともに、地域を支える多様なコミュニティ活動、地域に根ざした産業育成などをおして魅力的で発展する都市を形成していく。



・住まいや店舗等の多様な機能が集まり、美しい街並みが整備された街なかは、地域の賑わいを創出する。  
(写真：街なかの通り（秋田県湯沢市）)



・藩政時代の物々交換が始まりとされる互市は、現在も地場産品が並ぶ都市と農村の交流の場となっている。  
(写真：互市（岩手県一関市（旧花泉町）)

## 歴史や文化、自然環境を活かした美しい都市

地域固有の歴史や文化、自然環境を継承しながら、住民が誇りを持つことができる美しい都市を形成していく。また、環境負荷の低減を図る循環型社会の形成や自然エネルギーの活用などにより環境にやさしい都市を形成していく。



・地域固有の文化や歴史を活かしたまちのたたずまいは、地域住民の誇りとなり、次世代に継承されていく。  
(写真：「こみせ」を核としたまちづくり（青森県黒石市）)



・農村と田畑、山並みが調和した自然景観は東北地方の貴重な財産である。  
(写真：美しい農村風景（山形県飯豊町）)

## 参加と協働による健全な都市

人口減少の進展等に伴う自治体の厳しい財政下においても市民生活を支援し、行政サービスを持続していくには、市民やNPO等との協働をさらに進めていく必要がある。また、既存の公共公益施設の利用率を高めるとともに建替え計画などをおして住民の声を反映させる仕組みをつくり、健全な都市を形成していく。



・事業の計画段階から積極的に情報公開・提供を行い、市民の幅広い意見を集約し、道路事業に反映している。  
(写真：福島西道路地域懇談会の状況（福島県福島市）)



・地域住民と行政等が協力して、毎年、花が咲きほこるきれいなみちづくりを進めている。  
(写真：住民との協働による道路緑化（福島県田村市）)